

設立 平成24年 5月15日
開塾 平成24年 9月 8日
発行 令和 3年 8月14日
(99号)



[事務局] 〒648-0094
橋本市三石台4-1-15
TEL 0736-38-3669
FAX 0736-38-3680
発行 學塾・中之島事務局

人間学講座
第106講

「乗り越える！」
その時どう考え乗り越えたか」
西亀 真先生



■ やったらなんとかなる

「命」ってなんでしょう。

人間にも動物にも虫や魚、木や草にも命があります。「命」というととても漠然としてい

ますが、ある本に「命とはそのものに与えられた時間」とありました。一分という時間、一年という時間、いまこの時間も私の命であり、皆さんの命なのです。

目が見えていたとき最後に観た映画が『解夏(げげ)』です。映画の中で青年がだんだん目が見えなくなるのですが、そのお母さんの台詞がすごい。「目が見えなくなるというのは、誰にでも起こることではない。お前は貴重な体験ができるということやな」と。心に響きました。

身体は食べたもので作られます。そして心は「聴いた言葉で作られる」。未来は「話した言葉で作られる」。言葉に出したら叶うのです。

私は一八歳で阪急百貨店に入社しました。当時是一所懸命でした。ある年の冬、帰省した田舎の広島から大阪へと戻る際、乗るべき新幹線が雪のため不通になってしまった。なすすべなくうろたえていると、兄がホームに入ってきた特急電車に乗り、と言います。特急券がないから乗れない、という私に対し兄は「とりあえず乗れ。乗ったらなんとかなるんじゃない」と言い、私を電車に乗せました。乗ってみると、中で特急券を買うことができ、何の問題もなかった。このときの経験はその後、切羽つまったとき、目が見えなくなつてからも幾度となく力になりました。「とりあえずやれ。やったらなんとかなるんじゃない」その言葉が私のエネルギーのひとつになっています。

■ 神様そうきますか

アインシュタイン博士の言葉に「私は神様の作ったパズルを解く」とあるそうです。パズルを解くのは何も博士のような偉人だけではない、自分のような凡人も同じではないか？ジグソーパズルはいろんなピースをはめ込み、一枚の絵を作り上げていきます。誰もが生まれたときにパズルを渡され、一つ一つの出会い、仕事、言葉、趣味、結婚等、一つずつピースを嵌めていき、最後の一枚を埋め込んだときに自分の人生という絵が出来上がる。そのピースは自分にとって都合の良いピースばかりじゃない。嫌な人に会ったり、やりたくない仕事だったり、聴きたくない言葉だったり、病気や事故、倒産などのアクシデントもあるかもしれない。私自身「目が見えなくなる」というピースが来たときには、とても受け取れないと思いましたが。でも人生のジグソーパズルは、そのピースの良し悪しではなく、それを置かないと次のピースに進めない。私もそのピースを嵌めたことで、新しい人生が開けました。

昔、私はクレイン射撃をしていました。その免許を取るときには公安委員会に申し出ねばなりません。そこで警察に出向き、鉄砲の免許を取りたいことを申し出ると、担当の警察官が偉そうな非常に失礼な態度をとるのです。相手にされずいったん戻った私は、先に免許を持つ人に警察で受けた冷たいあしらいのことを話すと、その人は「そこからすでにテストが始まっている」と教えてくれました。免許を持たせるか持たせないかは警察署長に権限がある。すぐカッとなる性質かどうか、過去一〇年間の会社における様子、住まいの環境などすべて調べ上げられるそうです。そのうえで「すでに試験は始まっている」。それを先に知った私は、その後どんなに失礼なことを言われても「ハイ、わかりました」と穏やかにやり過したの

です。

試されているとわかれば、振り回されることなくそれに応えればよい。これは人生においても同じこと。「神様そう来ますか。試していますね」。何か頭にくるようなことがあったとしても、このフリーズを思い出すと冷静になれます。すべては神様からのピースなのです。

■ マイナス×マイナス

私は目が見えなくなつて、新たな場所にはどこにも一人で行けなくなりました。道に迷つたりして多くの方に迷惑をかけるからです「すみません」と呼び掛けても応えていただけないときがあると、惨めな気持ちも味わいます。しかしあるとき、このままではだめだ。一万回「すみません」を言い馴れたなら、きっと傷つくこともなく平気になるに違いない。そのためには日本全国四七都道府県一人旅をしようと思いつきました。最初に向いたのは、私の住む三重県の隣の愛知県です。一切何も決めずに出発です。前の晩は眠れないほどの心配がこみ上げました。なぜ隣の県を選んだかという、もしものときには逃げ帰れると思ったからです。その最初の旅はいろんな方の助けを受け、無事に帰ってくる事ができた。そのとき、これでもう四七都道府県全部まわれるな、と思えました。一つができたなら次は簡単になる。さらに三つめはもっと簡単になる。〇を一にするのが大変なのです。お蔭で今はどこへでも行けます。数学でマイナスとマイナスを掛け合すとプラスになります。マイナス10×マイナス10は100になります。マイナスとは人間のコンプレックス。マイナスが大きければ大きいほど、ひっくり返したら大きな自信になる。一人旅の経験は、今ではどこにでも出かけていけるとい、私の大きな強みとなりました。

(抄録 中川千都子)

《わたしの感動語録（抄録）》

- ・ 体は食べもので作られる。
- ・ 心は聞いた言葉で作られる。
- ・ 未来は話した言葉でつくられる。
- ・ 障がいや壁と思うか、扉と思うか本人次第。
- ・ 人生はジグソーパズル、一つ一つのピースを埋めないと次のピースがもらえない。
- ・ ご苦勞を一つ一つ乗り越える。
- ・ 褒められて気分が良いが、褒めている人の顔の方が良い。
- ・ どう言ったかでなくどう伝わったかが問題。
- ・ 大きいことをしようと思うと心が小さくなる。
- ・ 取りあえずやれ!! やったらなんとかなる。
- ・ 「生命」とはそのものに与えられて時間である。
- ・ 未来はいつも空白である。その空白を何で埋めるか。
- ・ 困難に遭ったら、「神さまそうきますか？試してみますね」と思う。
- ・ 全ての夢は叶う!! 追いかける勇気があるかどうか。
- ・ どんな困難でも来たれば来たれ、即座に解決してみせる。
- ・ 弱点はひっくり返せば自身になる。
- ・ 未来の空白を希望で埋める。

- ・ 人生あきらめなければなんとかなる。
- ・ 人は無理だと思ってもあきらめなければなんとかなる。
- ・ 0から1までの距離は、1から10000までの距離より遠い。
- ・ 生きることとコロッと死ぬ。生きる度録をする。
- ・ マイナス×マイナスはプラスになる。
- ・ 眼が見えることは当たり前ではなく、ありがたいことだ。
- ・ 弱点を見つけそれをひっくり返してプラスにする。



《アーカイブ》 師に導かれて

「天分塾ニュース」より抜粋

「仕事」の鉄則 寺田一清先生



仕事の仕は仕えるということですが、事もつかえるというのが本来の意味です。仕事とは天に仕え人に事えるという意なかるべからずと言われています。即ち天職・天命に通ずる心構えが必要です。ところでその仕事を果す上で大事な原則について考えてみたいと思います。

(一) 即今着手—まず仕事の本末・軽重を考えた上で、何を先にするかが大事ですが、やるべきことが決まれば、スグサマ手がけることが何より大切です。

(二) 一気呵成—着手しやり出したら統一力集中力を發揮し、一気にやり遂げる勢いが何よりです。(但し二等分線を過ぎるまでは一)という条件付きです。そうするとあとの仕事が勢いのつてラクになります。

(三) 守拙果遂—仕事に手ヌキは許されませんが一杯の努力をしても完璧は期しがたいもので八〇点確保を目指すべきです。

(四) 点検再考—例えば原稿を読み直し、修訂を加え、点検を試みるべきものです。

(五) 期限厳守—仕事を遂行する上で、何事にあれ、期限厳守、提出期限は、鉄則です。

いま卒業記念の『やまなみ』誌の原稿募集中です。人にはそれぞれ得手・不得手あり、苦手なことがあり、何より原稿提出が二ガ手というお方もおられますが、二ガ手のことこそ、修業のチャンスと思い、「時を守る」を最優先したいものです。

「信号を守りましょう」

鍵山先生は、仰言られました。「朝五時、家を出発して、駅まで四ヶ所信号があります。早朝ですから車は走っておりません。それでも私は、信号を厳守し、赤信号の時は、じつと立ち止まり、青信号になるまで待ちました。その代わり、ゆとりを持って、家を出発しております」と。

それをお聞きして私は、恥ずかしくなりました。わたくしは、早朝、左右を見て車が見えないときは、赤信号でも横断してしまいました。

自宅から駅まで私の場合も、四ヶ所信号にさしかかりますが、鍵山先生のお話をお聞きして以来、せめてこの一旦停止、信号待ちだけでも、厳守したいと思っただけは実行しております。六歩か七歩で渡れる歩道でも、じつと立ち止まって直立不動、待つことを厳守いたしています。

最近のことです。西晋一郎先生の『藤樹学講話』の中に、「知止」の章がありました。止まるを知るといふことです。漢文を書き下し文に直しますと

「止マルヲ知ツテ離レズバ、即チ心気定マツテ、而シテ、日々高明ヲ極ム、イワユル、定・静・安・慮、コレヲ得ルナリ」とありました。

「知止」即ち止まるを知るとは、如何に大切なことか。既に藤樹先生は今を去る三五〇年前に仰言っておられるのです。

そして「知止」の徹底が、心の安定と静慮をもたらすことを教えてくださっているのです。信号一つを守りきることによって、現代病のイライラ病から解放されることを教えられました。鍵山先生ありがとうございました。藤樹先生ありがとうございました。

「国家の品格」

新潮社新刊のこの『国家の品格』は、ベストセラー第一位のようですが、ベストセラーだからお勧めるものではありません。著者の藤原正彦氏のこの書をいち早く私にお勧めいただいたのは、わが畏友の戸田忠兵衛氏であります。かねてから藤原正彦氏の教育論の真髓に注目してきた者として、本屋に走り、購入し読みましたところ、森信三先生のお考えと揆を一にするものと、戸田忠兵衛氏へ返信を差し上げたのでした。先日歳の暮れのおし迫った十二月二日、東京一隅会に招かれ、東京行きの新幹線は大雪のため、一時間あまりの延着となったが、そのお陰で、再びこの書を再読できて、感動の沸き立つのを覚えました。

著者の藤原正彦教授は、かつて富士山頂気象台勤務であった作家新田次郎氏の二男であり、その父の正義感で大変尊敬しています。「卑怯を憎む心」すなわち武士道精神の復活を何より大事としております。今この書の要所・急所について簡略的に揚げますと

(一) 小学校において英語やパソコンの授業は必要ない。何より国語力の低下を憂う。もっとも読書の習慣を

(二) 合理や論理よりも「情緒や形」が大事である。その点 日本は美しい四季の自然に囲まれ、微妙な感性の富む 民族で形を重んじる国民である。

(三) 欧米人の精神構造は「対立」に基づいている。それに 反し、日本人は美的感受性の本体は「融合」である。この日本の特異性に誇りと自信を持ち、なんとと言っても世界のリーダーたるべき使命を帯びた民族である自覚を持たねばならぬ 全く東西文化融合の使命を早くより説かれた森信三先生の大局観と祖国愛に同感を存じえません。

人間学塾・中之島 第十期へのご紹介をお願いします!!

人間学塾・中之島は、「塾生の 塾生による 塾生のための塾」としてみなさま方の塾費で運営いたしておりますので、お一人でも多くの塾生の方々の入塾を要望いたしています。

塾生のみなさま方には熟知くださっています「学びの非日常空間」を口コミによるご紹介を基本に、ご縁を大切にしたいファミリーな塾として運営してまいりますので、今後ともご支援・ご協力願いますよう宜しくお願い申し上げます。



※《問合せ先》事務局 担当宮本
TEL 07363-38-3669 FAX 0736-38-3680
メール mm3724@skyblue.ocn.n.jp
☎ 090-1671-4725

《人間学塾・中之島》

令和3年9月第十期入塾式

※日時 9月11日(第2土曜)

午後1時開式

※場所 大阪市中央公会堂(大会議室)

大阪市北区中之島5-3-51

※終了 午後3時(予定)

《芳信抄》

埼玉県 山下武彦様

大島修治先生のご講話は、生死を分かちご体験を経てご自身が対得された貴重な真言ですね。感動語録の中にたくさん寄せられている言葉が物語ってくれております。九死に一生を得られたことから得られた魂の言葉であり、身近な方々の支えのおかげでもあったのです。

寺田先生のアーカイブ「師に導かれて」も改めて読ませていただくと感銘深いお話しです。

鍵山先生なんとか持ち直して、回復されるよう念じます。

埼玉県 大出雅一様

「感謝と希望は困難に勝る」大島先生のご講演には深く感動しました。人は本人のどりよくで、考えや思いを改め、逆境を感謝や希望に変えることができることを学ばせていただきました。今後の人生の逆境にであつた時の大きな力を得ることができました。

ご自分を苦しめた犯人を、「犯人さん」とさん付けで言われる。バリアフリー温泉「やまびこ温泉」を作る夢を持たれている。本当に心洗われました。

「師に導かれて」寺田先生のお姿を思い浮かべながら拝読いたしました。

愛媛県 桂 誠司様

鍵山先生ご体調心配です。

芳信遅れまして申し訳ありません。夜中のエアコンで失敗し、体調を崩しております。

岡山県 柴田久美子様

大島先生のご講話に勇気を頂きました。本気のものさし。

わたしの夢は、全ての人が最期愛されていると感じ

て旅立てる社会を創ること。この夢を見続け三十年、これからも命ある限り尽くします。

宮城県 加藤秀夫様

大島修治先生のお話しは、災難による大火傷を乗り越えての体験は、大感動でした。

わたしの感動語録の

抄録は参加者のみなさまと共有できてうれし限りです。寺田先生のアーカイブ「師に導かれて」は生前を思い起こされます。

愛知県 坂部智一様

線降水帯による災害やカナダなど異常な熱波が報道されています。

人体的な温暖化で危険な暑さが広がりませんように努めたいです。

東京オリピック、集まると元気になります、ガンバレと静かに声援します。コロナ禍が早く収まります応に、みなさまくれぐれもご自愛くださいませ。

執行草舟先生申込書籍



※ 別紙申込書にてお申し込みください